

[著者一覧]

[代表]	
一松 信	京都大学名誉教授
岡田 禎雄	広島大学名誉教授
[監修]	
赤井 利行	兵庫大学教授
池田 敏和	横浜国立大学教授
黒澤 俊二	元立教大学教授
田中 博史	「授業・人」塾代表・元筑波大学附属小学校副校長
正木 孝昌	元國學院大學栃木短期大学教授
柳瀬 泰	玉川大学教授
[編集]	
青山 尚司	筑波大学附属小学校教諭
石浜 健吾	昭和学院小学校教諭
今崎 浩	広島文教大学教授
植田 敦三	広島大学名誉教授
植村 哲郎	鹿児島大学名誉教授
越後 佳宏	東京学芸大学附属世田谷小学校副校長
及川 久遠	大和大学教授
大澤 弘典	山形大学大学院教授
大和田智義	静岡大学教授
尾崎 伸宏	成蹊小学校教諭
尾崎 正彦	関西大学初等部教諭
小野健太郎	武蔵野大学准教授
風間 寛司	福井大学准教授
川崎 道広	大分大学教授
河崎 美保	静岡大学准教授
神戸 佳子	東海大学教授
木下 幸夫	関西学院初等部教諭
木村 知子	世田谷区立多聞小学校教諭
日下 智志	鳴門教育大学講師
久保田健祐	西宮市立鳴尾東小学校教諭
蔵満 逸司	琉球大学教職大学院准教授
河内麻衣子	豊島区立高南小学校教諭
上月 千尋	日野市立日野第四小学校教諭
後藤 学	白鷗大学准教授
後藤 道洋	東京学芸大学附属大泉小学校教諭
小林 秀訓	広島大学附属東雲小学校教諭
齋藤 昭	柴田学園大学大学院非常勤講師
坂本 正彦	元常葉大学大学院准教授
佐藤 純一	国立学園小学校校長

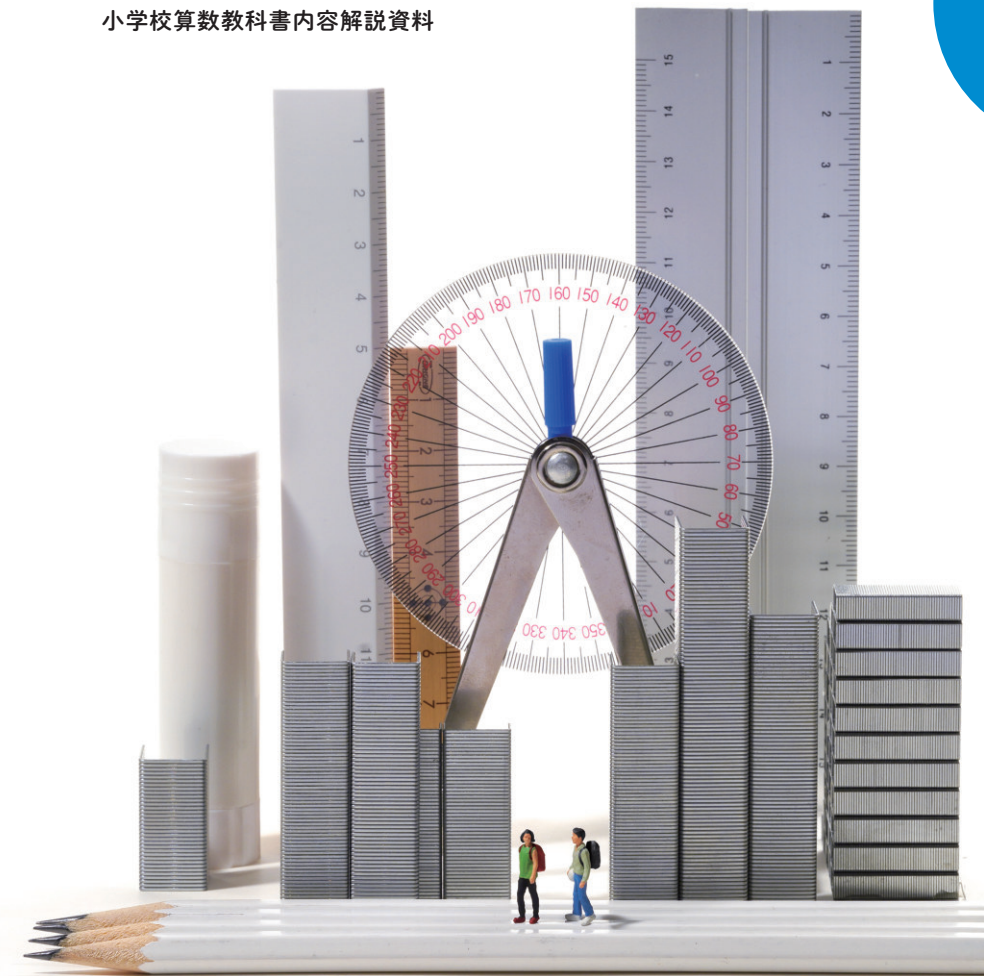
清水 久嗣	慶應義塾幼稚舎教諭
正田 良	成蹊大学非常勤講師
杉原 真晃	聖心女子大学教授
鈴木 純	学習院初等科教諭
高澤 茂樹	滋賀大学教授
竹尾智登志	南山大学附属小学校教諭
田中 英海	筑波大学附属小学校教諭
中田 寿幸	筑波大学附属小学校教諭
長島 寛和	国分寺市立第三小学校教諭
永田美奈子	雙葉小学校教諭
長間 清人	沖縄市立比屋根小学校校長
夏坂 哲志	筑波大学附属小学校副校長
西谷 泉	群馬大学名誉教授
布川 和彦	上越教育大学教授
野村 俊一	早稲田大学准教授
樋口万太郎	香里ヌヴェール学院小学校教諭
平川 賢	昭和学院小学校教諭
前田 健太	慶應義塾横浜初等部
益川 弘如	聖心女子大学教授
町田彰一郎	埼玉大学名誉教授
松井 恵子	播磨町立蓮池小学校教頭
松岡 克典	奈良学園大学准教授
松岡 泰成	那覇市立松島小学校校長
松沢 要一	上越教育大学名誉教授
松村 聡	藤女子大学教授
松村 隆年	常葉大学特任准教授
丸山健太郎	横浜国立大学附属鎌倉小学校
宮城 和彦	日本女子大学附属豊明小学校教諭
村田 亜季	カリフォルニア州立大学パークレー校教授
森本 隆史	筑波大学附属小学校教諭
守屋 義彦	元国立学院小学校校長
山本 順一	大井町立大井小学校教諭
山本 良和	昭和学院小学校校長
和田 信哉	鹿児島大学准教授
渡邊 慶子	滋賀大学准教授
[全体校閲]	
榎本 勝人	元鹿児島市立原良小学校校長
[特別支援・カラーユニバーサルに関する校閲]	
田中 良広	帝京平成大学教授

みんなと学ぶ

小学校 算数

令和6年度用

小学校算数教科書内容解説資料



CONTENTS

単元一覧表 …… 2
 系統表 …… 14
 図、表の系統性 …… 26
 主な考え方モンスター別
 構成一覧 …… 28

本資料は「教科書発行者行動規範」に則っており、配布を許可されているものです。



単元一覧表



1年

合計 114 時間 (予備時数 22 時間)

		単元	配当時間	領域	学習内容
前期 ↓ 50	4月 ↓ 7	入門期 (p.2～5)	2	A	・ものの種類などでの仲間分け・集合作り ・10までの個数 ・対応による大小比較(大小・同数・間接比較)
		1 10までのかず (p.6～23)	7	A	・1～5の具体物と半具体物との対応 ・1～5の数詞, 数字の読み方, 書き方 ・6～10の具体物と半具体物との対応 ・6～10の数詞, 数字の読み方, 書き方 ・0の意味と, 読み方, 書き方 ・0～10までの数の構成・系列
	5月 ↓ 11	2 いくつといくつ (p.24～31)	4	A	・5～10の合成・分解
		3 なんばんめかな (p.32～35)	2	A, B	・ものの順序や位置を数を用いて表す(順序数) ・前後・上下・左右 ・集合数と順序数の関係 ・平面の位置の表し方
		4 あわせていくつ ふえるといくつ (p.36～53)	12	A	・加法の意味(合併・増加) ・加法の式の表し方, 読み方, 書き方 ・和が10までの加法 ・作問 ・カードによる計算練習 ・0の加法 ・絵本作り
	6月 ↓ 15	5 のこりはいくつ ちがいはいくつ (p.54～69)	12	A	・減法の意味(求残・求補) ・減法の式の表し方, 読み方, 書き方 ・和が10までの加法の逆の減法 ・0の減法 ・減法の意味(求差) ・作問 ・減法の意味(異種の数量) ・カードによる計算練習 ・絵本作り
		さんすうをつかって (p.70～71)	1	A	・身の回りのものを使った加減の問題作成
	2学期 ↓ 45	6 いくつあるかな (p.72～73)	1	D	・資料を絵グラフに表す
		7 10よりおおいかずをかぞえよう (p.74～85)	7	A	・2位数の意味と表し方 ・20までの数の読み方, 書き方, 大小, 系列 ・簡単な2位数の加減 ・35までの数の読み方, 書き方
		8 なんじなんじはん (p.86～87)	2	C	・何時, 何時半の時刻の読み方 ・日常生活と時刻

2学期 ↓ 45	10月 ↓ 14	9 かたちあそび (p.2～5)	5	B	・立体の分類 ・立体図形の特徴や性質 ・立体の面からの平面の取り出し
		10 たしたりひいたりしてみよう (p.6～9)	3	A	・3口の加減とその式の表し方
	11月 ↓ 14	11 たしざん (p.10～18)	9	A	・(1位数)+(1位数)で繰り上がりのある場合の加法の意味と計算のしかた ・カードによる計算練習 ・1つの数を他の数の和とみる
		12 ひきざん (p.19～29)	10	A	・(十何)-(1位数)で繰り下がりのある場合の減法の意味と計算のしかた ・カードによる計算練習 ・1つの数を他の数の差とみる ・加減の演算決定
3学期 ↓ 29	12月 ↓ 7	13 くらべてみよう (p.30～39)	7	C	・長さの概念, 測定の基礎(直接比較・間接比較・任意単位) ・かさ, 体積の概念, 測定の基礎 ・面積の概念, 測定の基礎
	1月 ↓ 10	さんすうをつかって (p.40～41)	1	A	・身の回りのものを使って, ものの個数を数える
		14 かたちをつくろう (p.42～45)	4	B	・図形を使った作品作り ・直線を使った作品作り
		15 大きいかずをかぞえよう (p.46～59)	11	A	・30以上の数の2位数の構成 ・一の位, 十の位 ・100までの数の構成, 読み方, 書き方, 大小, 系列, 数直線 ・120までの数の系列 ・繰り上がりや繰り下がりのない2位数と1位数の加減 ・簡単な何十の加減
	2月 ↓ 13	16 なんじなんぶん (p.60～62)	2	C	・何時何分の時刻の読み方 ・日常生活と時刻
3月 ↓ 6	2月 ↓ 13	17 たすのかなひくのかな ずにかいてかんがえよう (p.63～69)	5	A	・加減の演算決定 ・順序や集合の数量化 ・順序数を含む加減 ・計算の意味やしかたの考察 ・1つの数をいろいろな式に表す
		ふりかえろう つなげよう (p.70～71)	1	A	・12の数構成
	3月 ↓ 6	18 かずしらべ (p.72～73)	1	D	・資料の活用
		19 1年のまとめをしよう (p.74～79)	3	A, B, C, D	・1年の学習内容のまとめ
		プログラミングのプ (p.80～81)	1		・プログラミング的思考
		さんすうをつかって (p.82～84)	1	A	・日にちの計算

2年

合計 139 時間 (予備時数 36 時間)

		単元	配当時間	領域	学習内容 △…発展 ☆…算数パトロール隊
前期 ↓ 72	4月 ↓ 14	1 ひょうとグラフ (p.12～19)	4	D	・簡単な事柄を表やグラフに表す
		2 時こくと時間(1) (p.20～29)	3	C	・時刻の読み方 ・時刻と時間の概念 ・1日の時間, 午前・午後, 1日=24時間 ・日常生活と時刻
		3 2けたのたし算とひき算 (p.30～37)	2	A	・既習の計算を使って, (2位数) + (2位数) の計算のしかたを考える ・既習の計算を使って, (2位数) - (2位数) の計算のしかたを考える
		4 たし算のひっ算 (p.38～51)	7	A	・(2位数) + (1, 2位数) の計算のしかた ・加法の筆算形式 ・(1位数) + (2位数) の筆算のしかた ・繰り上がりのある(2位数) + (1, 2位数) の筆算のしかた ・加法の交換法則, 結合法則
	5月 ↓ 14	5 ひき算のひっ算 (p.52～63)	6	A	・(2位数) - (1, 2位数) の計算のしかた ・減法の筆算形式 ・繰り下がりのある(2位数) - (1, 2位数) の筆算のしかた ・加減の相互関係と答えの確かめ
		6 長さ(1) (p.64～78)	8	C	・直接比較, 間接比較, 任意単位, 普遍単位 ・単位cm, mmの意味, 読み方, 書き方, 測定 ・単位の関係 ・長さの加減 ・直線の意味
		7 たし算とひき算(1) (p.79～85)	5	A	・加減の立式 ・テープ図のかき方
	7月 ↓ 9	8 1000までの数 (p.86～99)	7	A	・1000までの数の構成, 読み方, 書き方 ・数系列, 数直線 ・数の相対的な大きさ, 大小 ・不等号の記号(>, <) ・数構成をもとにした加減(50+80, 170-80)
		9 大きい数のたし算とひき算 (p.100～117)	11	A	・(2位数) + (1, 2位数) = (3位数) の筆算のしかた ・繰り上がりのある(2位数) + (1, 2位数) の筆算のしかた ・(3位数) + (1, 2位数) の筆算のしかた ・(3位数) - (1, 2位数) の筆算のしかた ・簡単な(3位数) ± (3位数) ☆ひき算の筆算
		ふりかえろうつなげよう (p.118～119)	1	A	・加減の筆算の比較
		算数をつかって (p.120～121)	1	C	・日常生活と時刻
2学期 ↓ 56	9月 ↓ 17	10 水のかさ (p.122～133)	7	C	・かさの測定の意味と単位 ・直接比較, 間接比較, 任意単位, 普遍単位 ・単位L, dL, mLの意味, 読み方, 書き方 ・ますでの測定, ます作り ・単位の関係 ・かさの加減
		11 三角形と四角形 (p.134～149)	10	B	・三角形・四角形の意味, 構成要素(辺, 頂点) ・直角 ・長方形, 正方形, 直角三角形 ・もよう作り ・身のまわりの図形

後期 ↓ 67	2学期 ↓ 56	10月 ↓ 16	12 かけ算(1) (p.2～22)	16	A	・乗法の意味, 式の表し方, 答えの求め方, 作問 ・倍 ・2～5の段の九九の構成 ・作問 ・乗数の変化による積の変化 ・被乗数の分解による答えの求め方
		11月 ↓ 16	13 かけ算(2) (p.23～37)	11	A	・6～9, 1の段の九九の構成 ・作問 ・乗数の変化による積の変化 ・被乗数の分解による答えの求め方 ・加減乗の演算決定
			14 かけ算(3) (p.38～47)	6	A	・九九表を見てきまりを見つける ・乗法の交換法則 ・1つの数を他の数の積とみる ・九九を超える乗法 ・九九の活用
	12月 ↓ 7	15 分数 (p.48～57)	5	A	・分数の意味と表し方 ・分数と倍	
		算数をつかって (p.58～59)	1	C	・水のかさ	
	3学期 ↓ 28	1月 ↓ 10	16 時こくと時間(2) (p.60～65)	2	C	・時間の計算
			17 10000までの数 (p.66～79)	6	A	・10000までの数の構成, 読み方, 書き方 ・数の相対的な大きさ, 大小, 数系列, 数直線 ・分類整理に対する数の表し方
			ふりかえろう つなげよう (p.80～81)	1	A	・大きい数の数感覚
		2月 ↓ 12	18 長さ(2) (p.82～89)	4	C	・単位mの意味, 読み方, 書き方, 測定 ・単位の関係 ・長さの加減
			ふりかえろう つなげよう (p.90～91)	1	C	・長さの単位の関係のまとめ
	3月 ↓ 6	19 たし算とひき算(2) (p.92～97)	3	A	・加減の立式(逆思考) ・作問	
20 しりょうのせいり (p.98～100)		1	D	・資料の活用 ・身のまわりの事象の考察 △複合グラフ		
21 はこの形 (p.101～109)		5	B	・箱作り ・箱の形の構成要素(面, 辺, 頂点)		
22 2年のまとめ (p.110～113)		3	A, B, C, D	・2年の学習内容のまとめ		
3月 ↓ 6	プログラミングのプ (p.114～115)	1		・プログラミング的思考		
	算数をつかって (p.116～118)	1	B	・日本の伝統模様としきつめ		

3年

合計 153 時間 (予備時数 22 時間)

		単元	配当時間	領域	学習内容 △…発展 ☆…算数バトロール隊
前期 ↓ 65	4月 ↓ 14	1 かけ算 (p.12 ~ 25)	7	A	・乗法のきまり(乗数の増減による積の変化, 交換法則, 分配法則, 結合法則) ・0の乗法 ・10の乗法
		2 時ごとと時間 (p.26 ~ 35)	6	C	・時間の計算 ・時間の筆算 ・日常生活と時刻 ・短い時間, 秒 ・単位の関係
		3 わり算 (p.36 ~ 53)	10	A	・除法の意味(等分除, 包含除)と答えの求め方, 除法の式の表し方 ・九九1回適用の除法 ・1や0の除法 ・作問 ・九九の範囲を超える除法
	5月 ↓ 14	倍の計算 (p.54 ~ 55)	1	A	・倍の計算
		4 たし算とひき算 (p.56 ~ 73)	13	A	・(3位数) + (2, 3位数) = (3, 4位数)の計算 ・(3位数) - (2, 3位数)の計算 ・百の位から一の位に繰り下げる計算 ・(4位数) ± (4位数), 10000 - (4位数)の計算 ・加法の結合法則 ・加減の計算のくふう, 暗算
		ふりかえろう つなげよう (p.74 ~ 75)	1	A	・加減の筆算のしかたのまとめ
		5 表とグラフ (p.76 ~ 87)	7	D	・資料の収集, 整理のしかた ・表の作り方(正の字の利用) ・棒グラフの読み方, かき方 ・二次元表の読み方, かき方
	7月 ↓ 9	6 長さ (p.88 ~ 99)	7	C	・巻き尺の使い方, 測定, 計器の選択 ・道のり, 距離 ・単位kmの意味, 読み方, 書き方 ・単位の関係 ・複名数の加減 ・1kmの量感
		算数をつかって (p.100 ~ 101)	1	D	・表の読み取り
		7 円と球 (p.102 ~ 117)	7	B	・円の定義, 性質 ・中心・半径・直径の意味 ・円を使ったもよう作り ・コンパスの使い方 ・球の定義, 性質
2学期 ↓ 55	9月 ↓ 12	8 あまりのあるわり算 (p.118 ~ 127)	5	A	・あまりのある除法の意味と答えの求め方, 式の表し方 ・あまりに着目した問題の解決, 作問 △除法の筆算形式

2学期 ↓ 55	10月 ↓ 17	9 (2けた) × (1けた)の計算 (p.2 ~ 5)	1	A	・既習の計算を使って, (2位数) × (1位数)の計算のしかたを考える	
		10 1けたをかけるかけ算 (p.6 ~ 19)	9	A	・(何十・何百) × (1位数)の計算 ・(2, 3位数) × (1位数)の計算 ・乗法の筆算形式 ・暗算	
		11 大きい数 (p.20 ~ 37)	10	A	・1億までの数の構成, 読み方, 書き方 ・数の相対的な大きさ, 大小, 数系列, 数直線 ・10倍, 100倍, 1000倍の数, 10でわった数 ・位をもとにした加減 ★数直線の読み取り	
	11月 ↓ 17	12 小数 (p.38 ~ 51)	10	A	・はしたの表し方 ・小数の表し方(小数第一位) ・小数の仕組み, 大小, 数系列, 数直線 ・簡単な小数の加減	
		13 三角形と角 (p.52 ~ 69)	12	B	・二等辺三角形と正三角形の定義, かき方 ・二等辺三角形と正三角形の角の性質 ・直角二等辺三角形の定義 ・二等辺三角形・正三角形を使ったもよう作り ・二等辺三角形と正三角形の関係 ・身のまわりの図形	
	12月 ↓ 9	算数をつかって (p.70 ~ 71)	1	A	・大きい数	
		14 2けたをかけるかけ算 (p.72 ~ 85)	9	A	・(1, 2位数) × (何十)の意味, 計算のしかた, 筆算 ・(2, 3位数) × (2位数)の計算のしかた, 筆算 ・暗算	
	後期 ↓ 88	1月 ↓ 15	15 分数 (p.86 ~ 101)	10	A	・分数ではしたの表し方 ・分数の仕組み, 1より大きい分数の意味, 表し方 ・分数と小数の関係($\frac{1}{10}$ の位) ・同分母分数の加減 ★分割分数と量分数の違い
			16 重さ (p.102 ~ 117)	11	C	・重さについての測定の意味 ・直接比較, 間接比較, 任意単位, 普遍単位 ・単位g, kg, tの意味, 読み方, 書き方 ・単位の関係 ・はかりを使っての測定 ・量の単位(キロ(k), ミリ(m)) ・かさと重さの関係 ・簡単な重さの計算 ★1kgの量感とはかりの使い方
		2月 ↓ 20	ふりかえろう つなげよう (p.118 ~ 119)	1	C	・長さ, かさ, 重さの単位のまとめ
17 □を使った式 (p.120 ~ 127)			5	A	・未知数を□にして式に表す ・数量関係の表し方, 式の読み方	
図を使って問題を考えよう (p.128 ~ 129)			-	A	・テープ図や線分図, 数直線図のかき方	
3学期 ↓ 45		3月 ↓ 10	18 しりょうの活用 (p.130 ~ 133)	2	D	・表や棒グラフの読み取り ・積み上げ棒グラフ, 並列棒グラフ ・身のまわりの事象の考察
			19 そろばん (p.134 ~ 137)	2	A	・そろばんの仕組み, 数の表し方, 読み方 ・そろばんを使った簡単な加減のしかた
		20 3年のまとめ (p.138 ~ 143)	3	A, B, C, D	・3年の学習内容のまとめ	
		プログラミングのプ (p.144 ~ 145)	1		・プログラミング的思考	
		算数をつかって (p.146 ~ 148)	1	D	・棒グラフや表の読み取り	

4年

合計 159時間 (予備時数 16時間)

		単元	配当時間	領域	学習内容 △…発展 ☆…算数バトロール隊
前期 ↓ 70	4月 ↓ 14	1 大きい数 (p.12～24)	6	A	・億、兆の位の数の構成、読み方、書き方 ・10倍、100倍、1000倍、 $\frac{1}{10}$ にした数 ・整数の仕組み(十進位取り記数法) ・位をもとにした四則 ・和差積商 △1000兆より大きい数
		2 折れ線グラフ (p.25～35)	5	C, D	・折れ線グラフの読み方、かき方
		ふりかえろう つなげよう (p.36～37)	1	D	・棒グラフ、表、折れ線グラフの読み取り
		3 わり算 (p.38～45)	4	A	・除法のきまり ・何十、何百の除法
	5月 ↓ 14	4 角 (p.46～61)	8	B	・回転角 ・角の大きさの単位「度」、単位の関係、1直角=90° ・分度器の使い方、角度の測り方 ・角や三角形のかき方 ・三角定規の角
		5 (2けた)÷(1けた)の計算 (p.62～65)	1	A	・既習の計算を使って、九九の範囲を超える除法の計算のしかたを考える
		6 1けたでわるわり算 (p.66～78)	9	A	・(2, 3位数)÷(1位数)の計算のしかた ・除法の筆算形式 ・除法の答えのたしかめ
		7 しりょうの整理 (p.79～85)	5	D	・2つの観点からの資料の整理、分析 ・二次元表、二項分類 ★表の読み方
	6月 ↓ 18	ふりかえろう つなげよう (p.86～87)	1	D	・二次元表の読み取り方
		8 2けたでわるわり算 (p.88～104)	12	A	・何十でわる除法 ・(2, 3位数)÷(2位数)の計算のしかた、筆算 ・仮の商を使った正しい商の見つけ方 ・(3位数)÷(3位数)の計算のしかた、筆算 ・除法のきまりを使った計算 ・乗除の演算決定
		倍の計算(1) (p.105～107)	1	A	・倍の計算 ・桁数の大きい数の整数倍 (倍にあたる大きさを求める、何倍かを求める)
		図や表を使って問題を考えよう(p.108～109)	-	A	・図のかき方や4マス関係表の作り方
	7月 ↓ 8	算数をつかって (p.110～111)	1	D	・折れ線グラフの読み取り
		9 垂直・平行と四角形 (p.112～137)	15	B	・垂直の意味と性質、かき方 ・平行の意味と性質、かき方 ・垂直や平行になっているところを探す ・台形・平行四辺形・ひし形の定義、性質、かき方 ・四角形の対角線の性質 ・平行四辺形・台形・ひし形を使った敷き詰め △四角形の包含関係
倍の計算(2)～かんたんな割合～(p.138～140)		1	C	・簡単な割合 ・2量の比べ方の考察	

2学期 ↓ 60	10月 ↓ 17	10 がい数 (p.2～17)	10	A	・概数の意味 ・四捨五入の意味としかた ・概数の表す範囲 ・切り捨て・切り上げ ・概算、見積もりのしかた ・概数の活用	
	11月 ↓ 18	11 式と計算 (p.18～32)	9	A	・加減乗除、()のある場合の式の意味、計算の順序 ・加法、乗法の交換・結合法則 ・分配法則 ・くふうした計算 ・乗法のきまり ・整数の四則のまとめ	
		12 小数 (p.33～50)	10	A	・小数の表し方(小数第二位、小数第三位) ・小数の仕組み、数直線、大小 ・10倍、100倍、1000倍、 $\frac{1}{10}$ の数 ・小数の加減(小数第二位)、筆算のしかた ・加法の交換・結合法則の小数への拡張	
		13 そろばん (p.51～53)	2	A	・そろばんの仕組み、数の表し方、読み方 ・そろばんを使った加減のしかた	
		14 面積 (p.54～73)	11	A, B	・面積の意味と測定(直接比較・任意単位・普遍単位) ・面積の単位cm ² 、m ² 、a、ha、km ² 、単位の関係 ・長方形、正方形の面積公式 ・複合図形の面積の求め方 ★面積の量感	
	12月 ↓ 9	ふりかえろう つなげよう (p.74～75)	1	B	・まわりの長さとの面積の関係	
		算数をつかって (p.76～77)	1	B	・面積の計算	
	後期 ↓ 89	1月 ↓ 15	15 計算のしかたを考えよう (p.78～83)	2	A	・既習の計算を使って、小数の乗除のしかたを考える
			16 小数のかけ算とわり算 (p.84～97)	10	A	・(小数)×(整数)の意味と計算のしかた、筆算 ・(小数)÷(整数)の意味と計算のしかた、筆算 ・(整数)÷(整数)でわり進める計算 ・商の四捨五入、あまりの求め方 ・小数の乗除の演算決定、作問
			倍の計算(3)～小数倍～(p.98～99)	1	A	・小数倍
17 分数 (p.100～113)			9	A	・1より大きい分数(帯分数・仮分数)の意味、表し方 ・分数の大小、同値分数 ・同分母分数の加減	
2月 ↓ 20		18 直方体と立方体 (p.114～131)	11	B	・直方体・立方体の定義と性質 ・立体の構成要素(面・辺・頂点)、平面 ・直方体や立方体の展開図、見取図 ・面と面、辺と辺、面と辺の垂直・平行 ・平面や空間での位置の表し方 ・身のまわりの図形	
		19 ともなって変わる量 (p.132～141)	5	A, C	・伴って変わる2つの量の性質やきまり ・変化のきまりを表を使って見つける ・伴って変わる量の関係を□や○を使って式で表す ・式の意味の読み取り ・変化をグラフで表す	
3学期 ↓ 45		3月 ↓ 10	20 しりょうの活用 (p.142～147)	2	D	・データの活用 ・グラフの考察
			21 4年のまとめ (p.148～153)	3	A, B, C, D	・4年の学習内容のまとめ
		プログラミングのプ (p.154～155)	1		・プログラミング的思考	
		算数をつかって (p.156～158)	1	D	・複合グラフの読み取り	

		単元	配当時間	領域	学習内容 △…発展 ☆…算数バトロール隊
前期 ↓ 77	4月 ↓ 16	1 小数と整数 (p.12 ~ 19)	4	A	・十進位取り記数法 (整数・小数) ・10倍, 100倍, 1000倍, $\frac{1}{10}$, $\frac{1}{100}$ の数
		2 合同な図形 (p.20 ~ 35)	9	B	・合同の意味と性質 ・頂点・辺・角の対応 ・合同な三角形・四角形のかき方 ・図形の性質の説明のしかた ★合同な図形をかくことができる条件
		3 比例 (p.36 ~ 43)	4	A, C	・伴って変わる2つの量の関係を表に表す ・比例の関係 ・伴って変わる量の関係を□や○を使った式で表す
		4 平均 (p.44 ~ 55)	6	D	・平均の意味と求め方 ・測定値の平均 ・平均の求め方のくふう
		5 倍数と約数 (p.56 ~ 73)	10	A	・偶数と奇数 ・倍数・公倍数・最小公倍数の意味と求め方 ・約数・公約数・最大公約数の意味と求め方 ・倍数と約数の関係
	5月 ↓ 16	ふりかえろう つなげよう (p.74 ~ 75)	1	A	・整数の見方
		6 単位量あたりの大きさ (1) (p.76 ~ 89)	7	C	・単位量あたりの大きさの意味と求め方 (こみぐあい, 人口密度, 収量, 仕事量) ★こみぐあいの求め方
		ふりかえろう つなげよう (p.90 ~ 91)	1	C	・いろいろな単位量あたりの大きさ
		図や表を使って問題を考えよう (p.92 ~ 93)	-	A	・図のかき方や4マス関係表の作り方
		7 小数のかけ算 (p.94 ~ 109)	9	A	・(整数) × (小数), (小数) × (小数) の意味と計算のしかた, 筆算 ・面積公式や計算のきまりの小数への拡張
6月 ↓ 20	8 小数のわり算 (p.110 ~ 127)	12	A	・(整数) ÷ (小数), (小数) ÷ (小数) の意味と計算のしかた, 筆算 ・被除数が小数第二位のある小数の除法 ・商の四捨五入, あまりの処理 ・乗除の演算決定 ★被乗数と積, 被除数と商の関係	
	倍の計算~小数倍~ (p.128 ~ 129)	1	A	・小数倍 ・小数倍と小数倍にあたる大きさを求める	
	算数をつかって (p.130 ~ 131)	1	A	・フード・マイレージの計算	
	9 図形の角 (p.132 ~ 144)	7	B	・三角形の内角の和 ・多角形の内角の和	
7月 ↓ 13	10 単位量あたりの大きさ (2) (p.145 ~ 154)	5	C	・速さの意味と求め方 (時速・分速・秒速) ・道のりや時間を求める	

後期 ↓ 80	10月 ↓ 18	11 分数のたし算とひき算 (p.2 ~ 19)	11	A	・同値分数の意味と求め方 (倍分・約分) ・大小比較のしかた (通分) ・異分母分数の加減の意味と計算のしかた ・単位分数
		12 分数と小数・整数 (p.20 ~ 31)	6	A	・商分数, 分数倍 ・分数と小数・整数の関係 ・分数の意味の統合 △循環小数
		13 割合 (1) (p.32 ~ 45)	5	A, C	・2つの量の割合の意味 ・割合の求め方 (全体と部分) ・百分率, 歩合
		14 図形の面積 (p.46 ~ 69)	13	B	・平行四辺形・三角形の面積の求め方, 面積公式 ・台形・ひし形の面積の求め方, 面積公式 ・多角形の三角形分割での面積の求め方 ★底辺と高さの位置
		ふりかえろう つなげよう (p.70 ~ 71)	1	B	・図形の面積公式の統合
	11月 ↓ 18	15 正多角形と円 (p.72 ~ 87)	9	B	・正多角形の意味とかき方, 性質 ・円周と直径の関係, 円周率の意味 ・円周率の歴史 ★円周率の意味
		算数をつかって (p.88 ~ 89)	1	C	・割合を使った考察
		16 体積 (p.90 ~ 105)	8	B	・体積の意味と測定 (間接比較・任意単位・普遍単位) ・体積の単位 cm^3 , m^3 , 単位の関係 ・直方体, 立方体の体積公式 ・複合立体の体積 ・かさと体積の関係 ・容積
		ふりかえろう つなげよう (p.106 ~ 107)	1	B	・いろいろな形の容積
		17 割合 (2) (p.108 ~ 118)	7	C	・割合の求め方 (2量の関係) ・比べられる量やもとにする量の求め方 ・割合の利用 ★割合の求め方, 考え方
12月 ↓ 10	18 いろいろなグラフ (p.119 ~ 127)	4	D	・円グラフ, 帯グラフの読み方 ・円グラフ, 帯グラフのかき方	
	19 立体 (p.128 ~ 139)	7	B	・立体図形の特徴をとらえた分類 ・角柱・円柱の構成要素 (底面, 側面, 辺, 頂点), 曲面 ・角柱や円柱の見取図・展開図	
	20 データの活用 (p.140 ~ 143)	2	D	・データの活用 ・データを多面的に捉える ・PPDACサイクル	
1月 ↓ 12	21 5年のまとめ (p.144 ~ 149)	3	A, B, C, D	・5年の学習内容のまとめ	
	プログラミングのプ (p.150 ~ 151)	1		・プログラミング的思考	
	算数をつかって (p.152 ~ 154)	1	C, D	・割合や円グラフの読み取り	

後期 ↓ 80

3学期 ↓ 34

3月 ↓ 7

6年

合計 130時間 (予備時数 45時間)

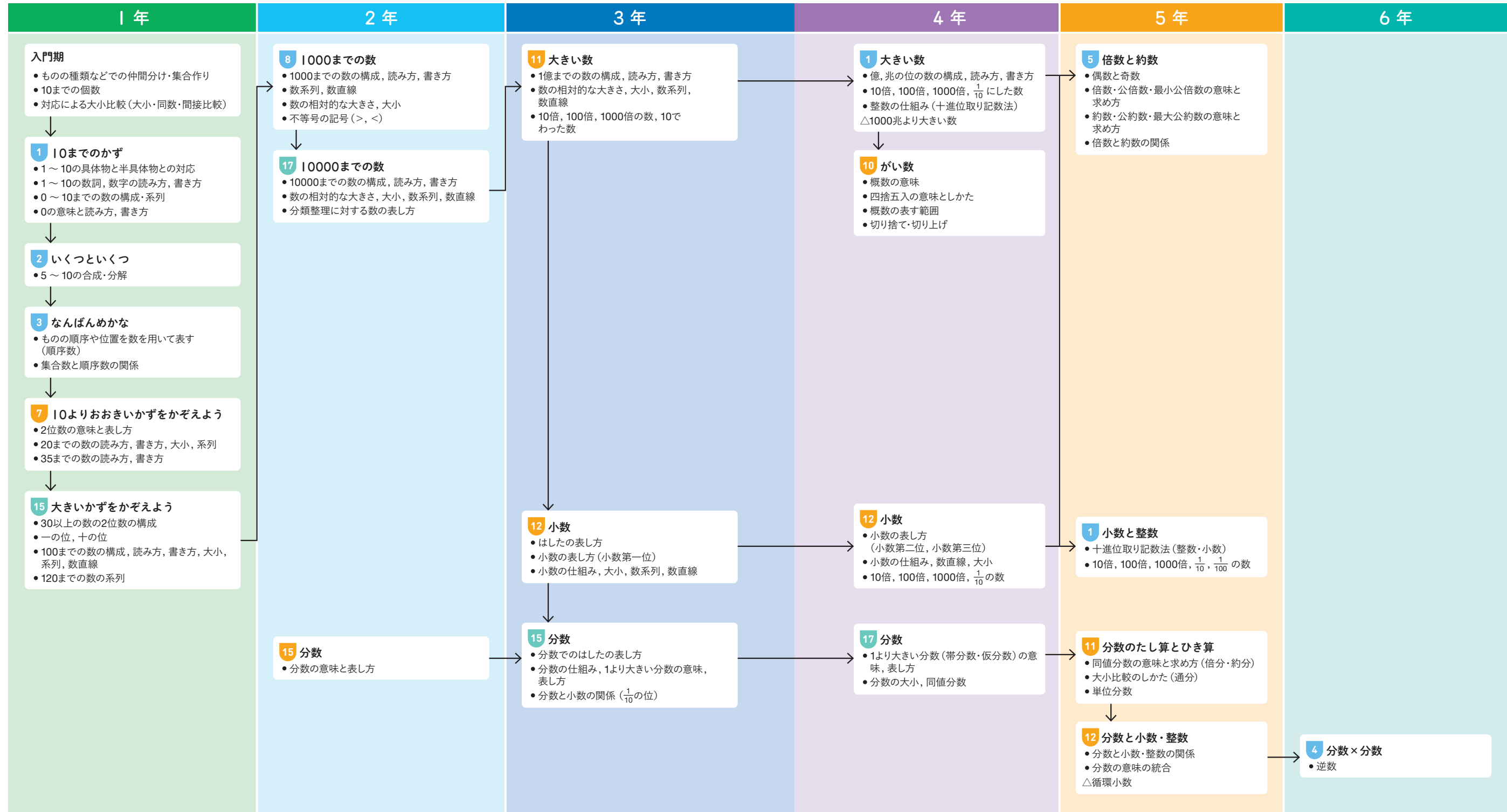
		単元	配当時間	領域	学習内容 △…発展 ☆…算数バトロール隊
前期 ↓ 72	4月 ↓ 13	1 対称 (p.12～29)	12	B	・線対称と点対称の定義, 性質, かき方 ・対称性に着目した基本図形の考察
		2 文字と式 (p.30～43)	8	A	・文字a, xの意味と, 文字を使った式, 読み取り ・文字を使った式の値を求める ・文字に当てはまる値を求める △等式の性質
	5月 ↓ 14	3 分数と整数のかけ算とわり算 (p.44～57)	8	A	・(分数)×(整数)の意味と計算のしかた ・(分数)÷(整数)の意味と計算のしかた
		図や表を使って問題を考えよう (p.58～59)	-	A	・図のかき方や4マス関係表の作り方
	6月 ↓ 17	4 分数×分数 (p.60～73)	10	A	・(分数)×(分数)の意味と計算のしかた ・面積や体積の公式, 計算のきまりの分数への拡張 ・逆数
		5 分数÷分数 (p.74～85)	7	A	・(分数)÷(分数)の意味と計算のしかた ・分数の乗除の演算決定
	7月 ↓ 9	6 資料の整理 (p.86～101)	6	D	・平均値, 最頻値, 中央値, 代表値 ・ドットプロット, 資料のちらばりの意味 ・階級, 度数分布表の作り方 ・柱状グラフの読み方, かき方 △いろいろな階級の幅 ★「最頻値」, 「中央値」の意味
		ふりかえろう つなげよう (p.102～103)	1	D	・いろいろなグラフ
		算数をつかって (p.104～105)	1	D	・表の読み取り
	2学期 ↓ 59	9月 ↓ 19	7 ならべ方と組み合わせ方 (p.106～116)	6	D
8 小数と分数の計算 (p.117～123)			5	A	・小数・分数の混合算 ・小数・分数の計算の適用問題 ★整数, 分数, 小数の混合算
ふりかえろう つなげよう (p.124～125)			-	A	・整数の加減乗除 △四則の可能性
倍の計算～分数倍～ (p.126～127)			1	A	・分数倍
9 円の面積 (p.128～142)			7	B	・円の面積の求め方, 面積公式 ・面積の概測 ★円周の長さとの面積

2学期 ↓ 59	10月 ↓ 17	10 立体の体積 (p.143～153)	6	B	・角柱・円柱の体積の求め方, 体積公式 ・体積の概測 △錐体の体積
		ふりかえろう つなげよう (p.154～155)	1	B	・正十二角形の作図 ・正十二角形の内角, 面積
		ふりかえろう つなげよう (p.156～157)	-	B	△底面積と体積の関係
		11 比とその利用 (p.158～169)	9	C	・比の意味と表し方 ・等しい比の意味と求め方 ・比の値の意味 ・比の応用
		12 拡大図と縮図 (p.170～185)	9	B	・拡大図と縮図の定義と性質 ・拡大図と縮図のかき方 (方眼紙の利用, 辺・角の利用, 図形の内部の1つの点の利用) ・縮図の利用, 縮尺と地図
		13 比例と反比例 (p.186～209)	14	C	・2つの量の変化のしかたを調べる ・比例の意味と性質 ・比例関係を表す式, グラフ ・比例の関係を使った問題解決 ・反比例の意味, 性質, 式 ・反比例の関係を使った問題解決 ★比例・反比例の関係
		算数をつかって (p.210～211)	1	D	・二次元表の整理
		14 データの活用 (p.212～217)	3	D	・PPDACサイクル ・データの分析 ・データの活用 ・データを批判的に捉える
		15 算数のまとめ (p.218～225)	4	A, B, C, D	・小学校6年間の算数の学習内容のまとめ
		16 プログラミングのブ (p.226～227)	1		・プログラミング的思考
3学期 ↓ 18	1月 ↓ 10	算数をつかって (p.228～230)	1	B	・縮尺の利用
		1 算数で見つけた見方・考え方 (p.4～25)	9	A, B, C, D	○見方・考え方のまとめ ・「1つ分を作る」場面のまとめ ・「まとめてみる」場面のまとめ ・「別の表し方にする」場面のまとめ ・「そろえてみる」場面のまとめ ・「分けてみる」場面のまとめ ・「形や数などを変えてみる」場面のまとめ ・「きまりを見つける」場面のまとめ ・「同じように考える」場面のまとめ ・「理由を考える」場面のまとめ
		2 中学校へのかけ橋 (p.26～48)	-	A, B, C, D	・正の数, 負の数 ・文字式 ・等式の意味と性質 ・垂直・平行な直線, 角の二等分線の作図 ・伴って変わる2量を表, 式, グラフに表す ・PPDACサイクルを使った考察
後期 ↓ 58	2月 ↓ 10				
	3月 ↓ 8				

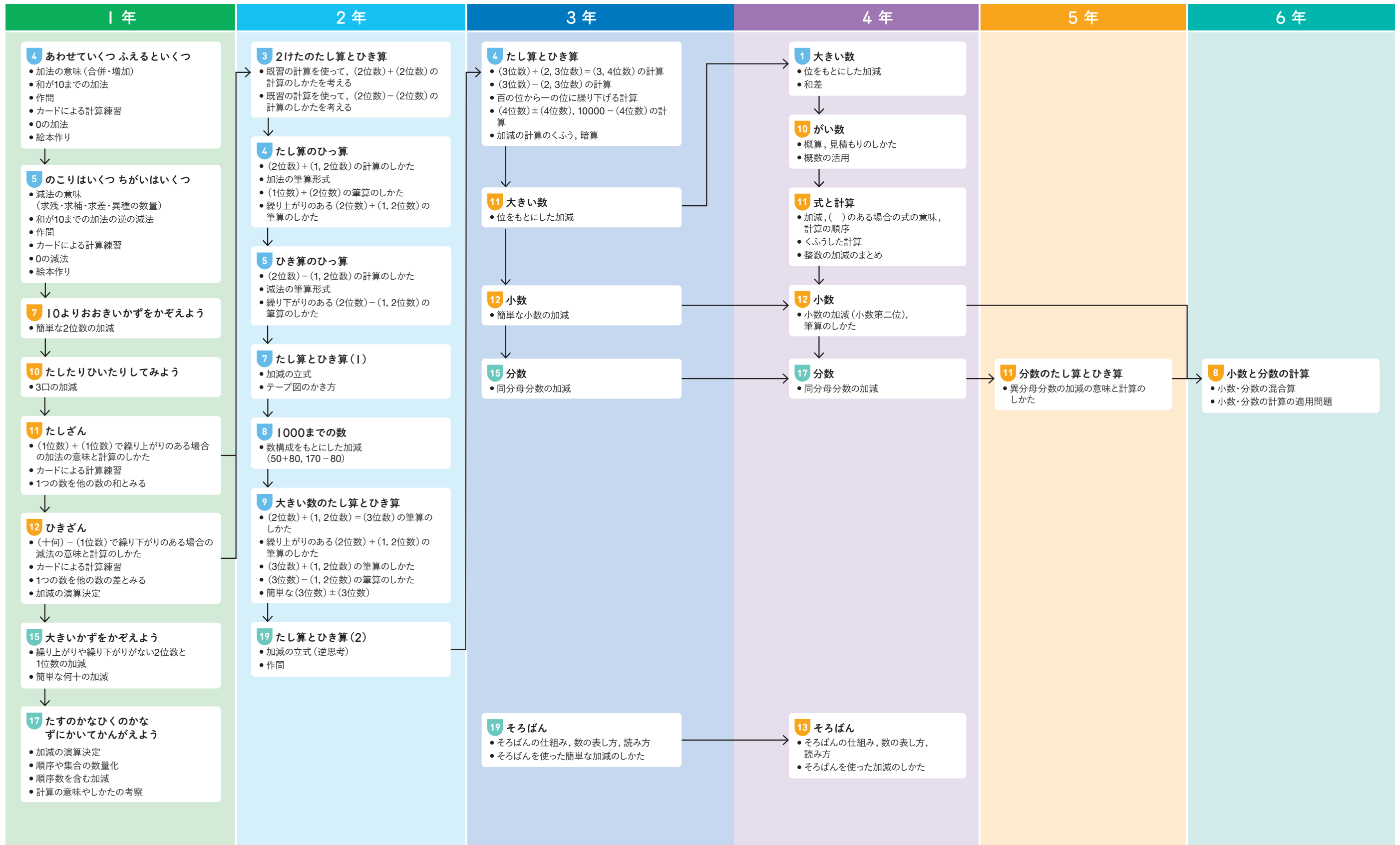
系統表

A 数と計算 (数)

△…発展



A 数と計算 (計算 1)



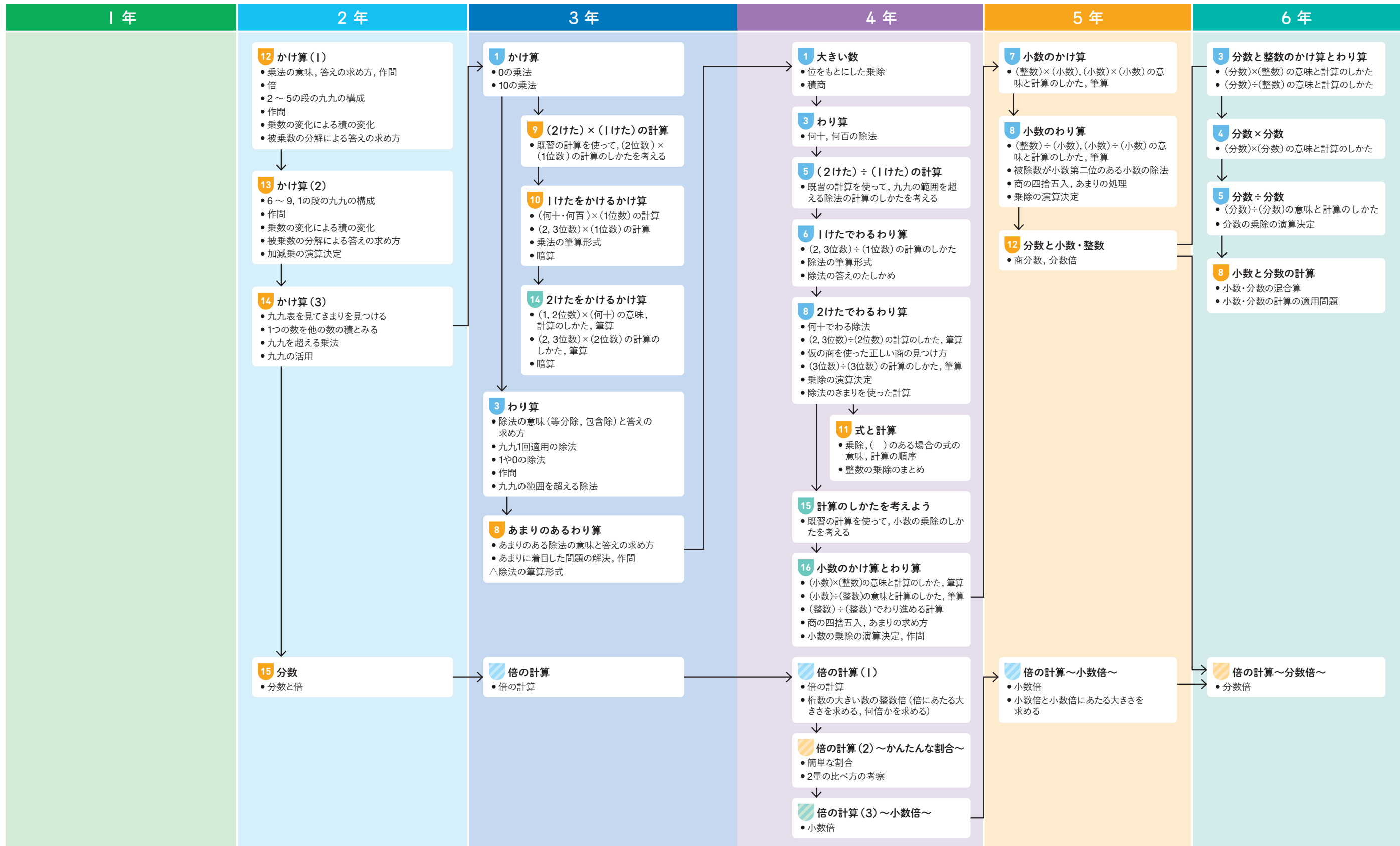
[中学校1年]
 • 正負の数の加減
 • 1次式の加減

[中学校2年]
 • 多項式の加減

[中学校3年]
 • 根号を含む式の加減

A 数と計算 (計算2)

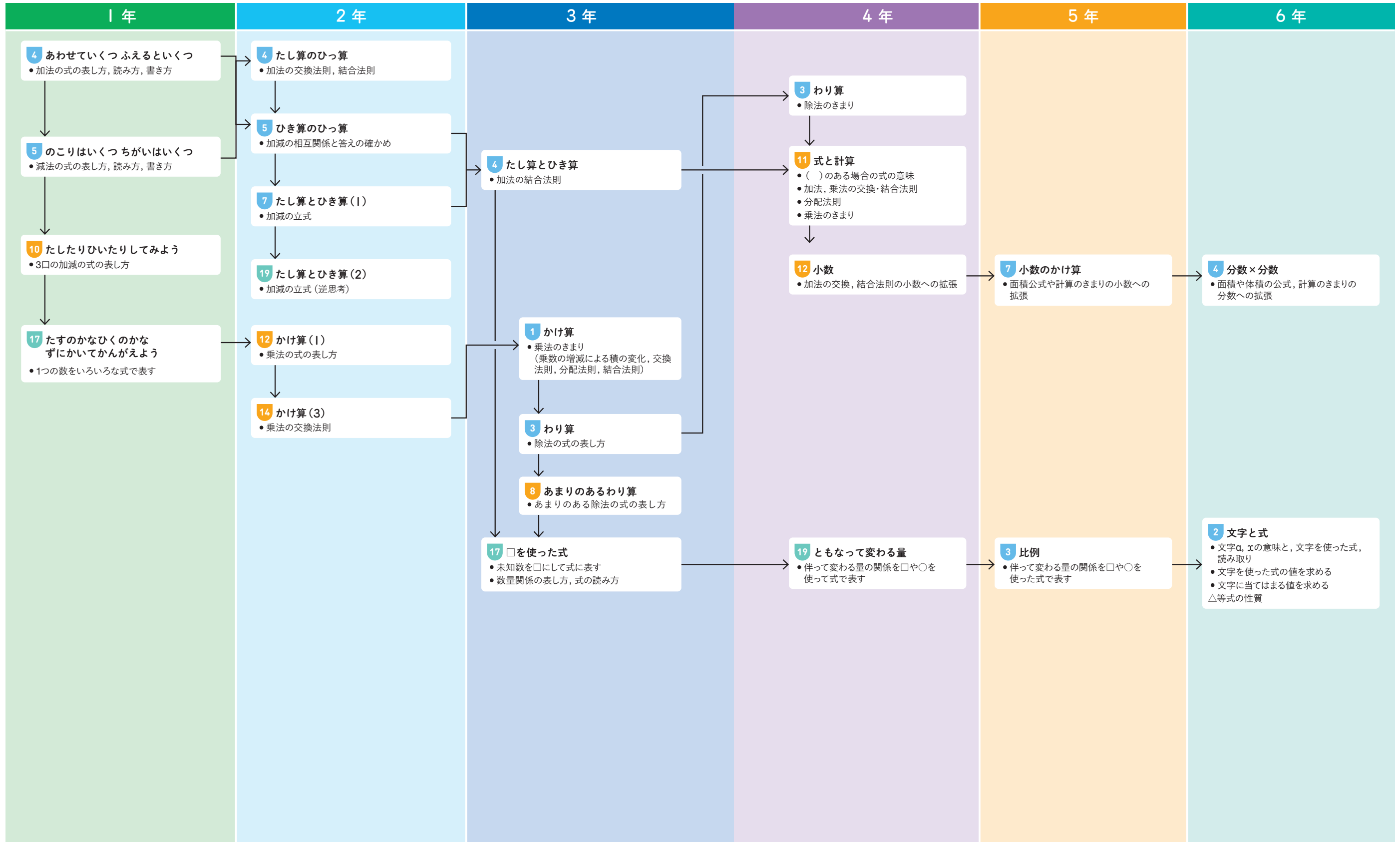
△…発展



- [中学校1年]**
 - 正負の数の乗除
 - 素因数分解
 - 1次式と数の乗除
- [中学校2年]**
 - 多項式と数の乗除
 - 単項式どうしの乗除
- [中学校3年]**
 - 単項式と多項式の乗除
 - 因数分解
 - 根号を含む数の乗除

A 数と計算 (式表現)

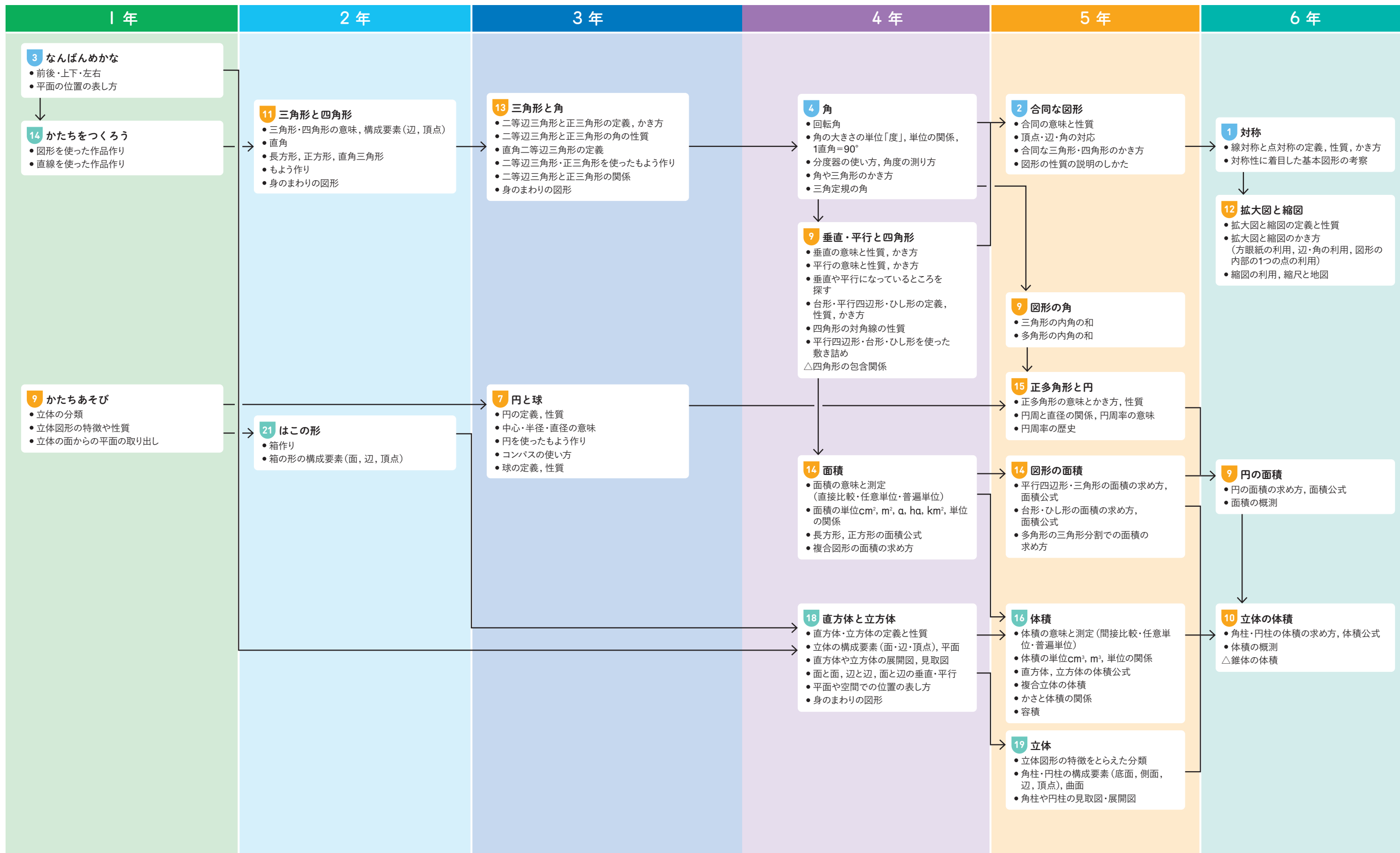
△…発展



[中学校1年]
★文字式
★累乗
★等式, 不等式
★1次方程式
★比例式

[中学校2年]
★連立方程式

[中学校3年]
★2次方程式
★解の公式



[中学校1年]

- 作図
- 図形の移動
- おうぎ形
- 錐体
- 投影図
- 多面体
- 表面積、体積の公式

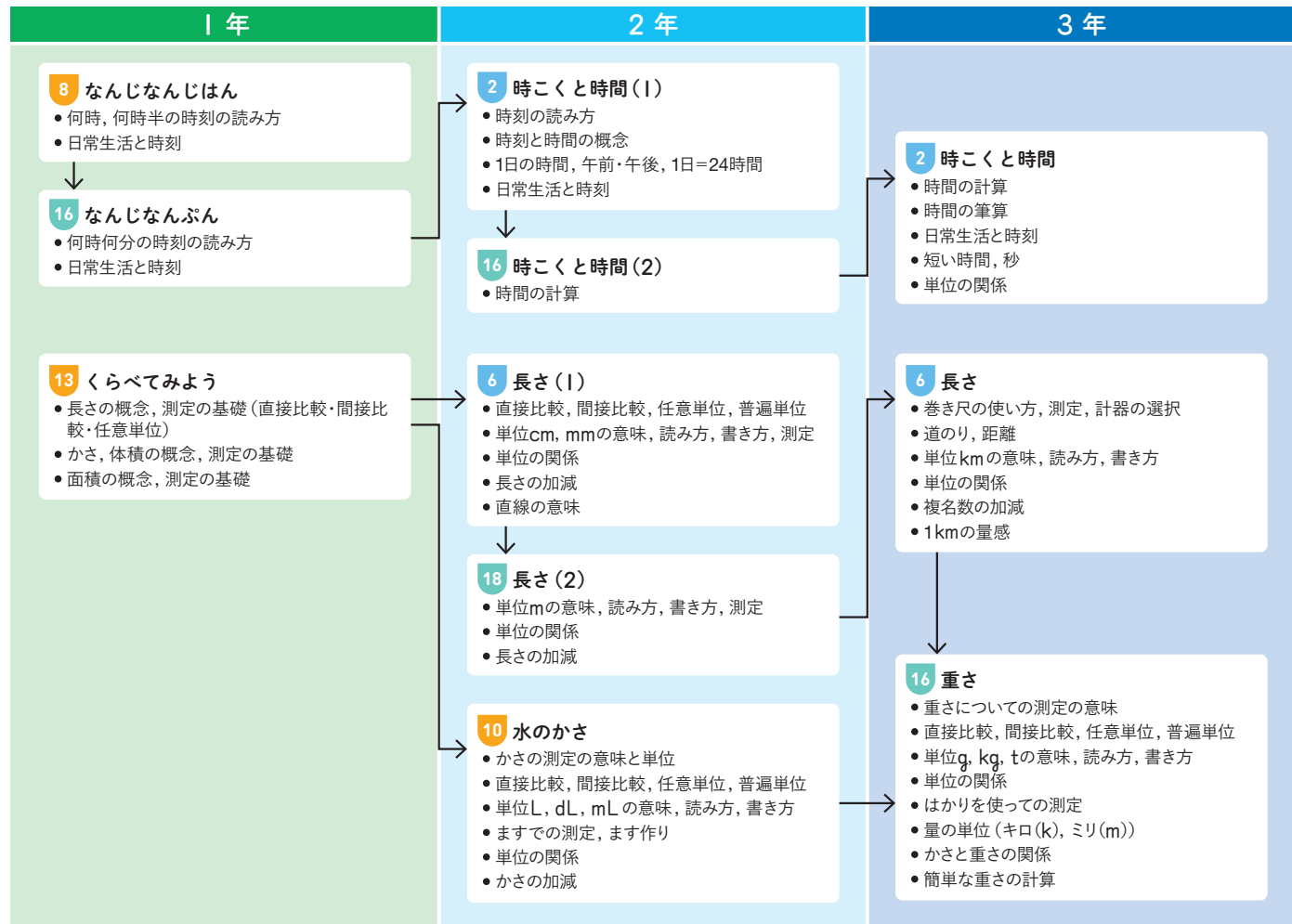
[中学校2年]

- 図形の合同
- 三角形の合同条件
- 証明
- 二等辺三角形、正三角形の性質
- 直角三角形の合同条件
- 平行四辺形の性質

[中学校3年]

- 相似な図形
- 三角形の相似条件
- 中点連結定理
- 相似比
- 円周角の定理とその逆
- 三平方の定理とその逆

C 測定



C 変化と関係



[中学校1年]

- ★関数
- ★比例
- ★反比例

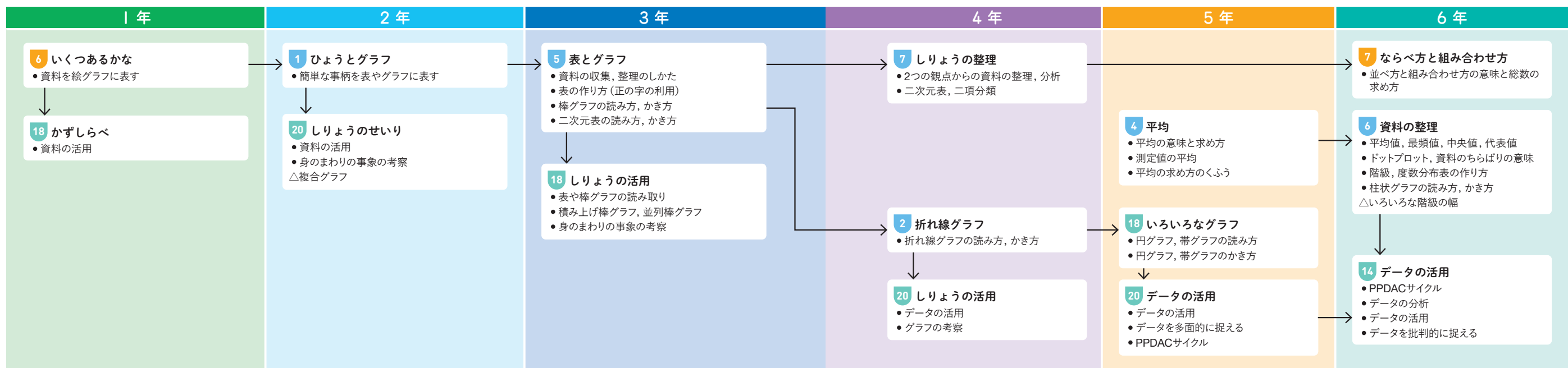
[中学校2年]

- ★1次関数

[中学校3年]

- ★関数 $y=ax^2$

D データの活用



△…発展

[中学校1年]

- ★データの分布
- ★相対度数
- ★累積度数
- ★確率

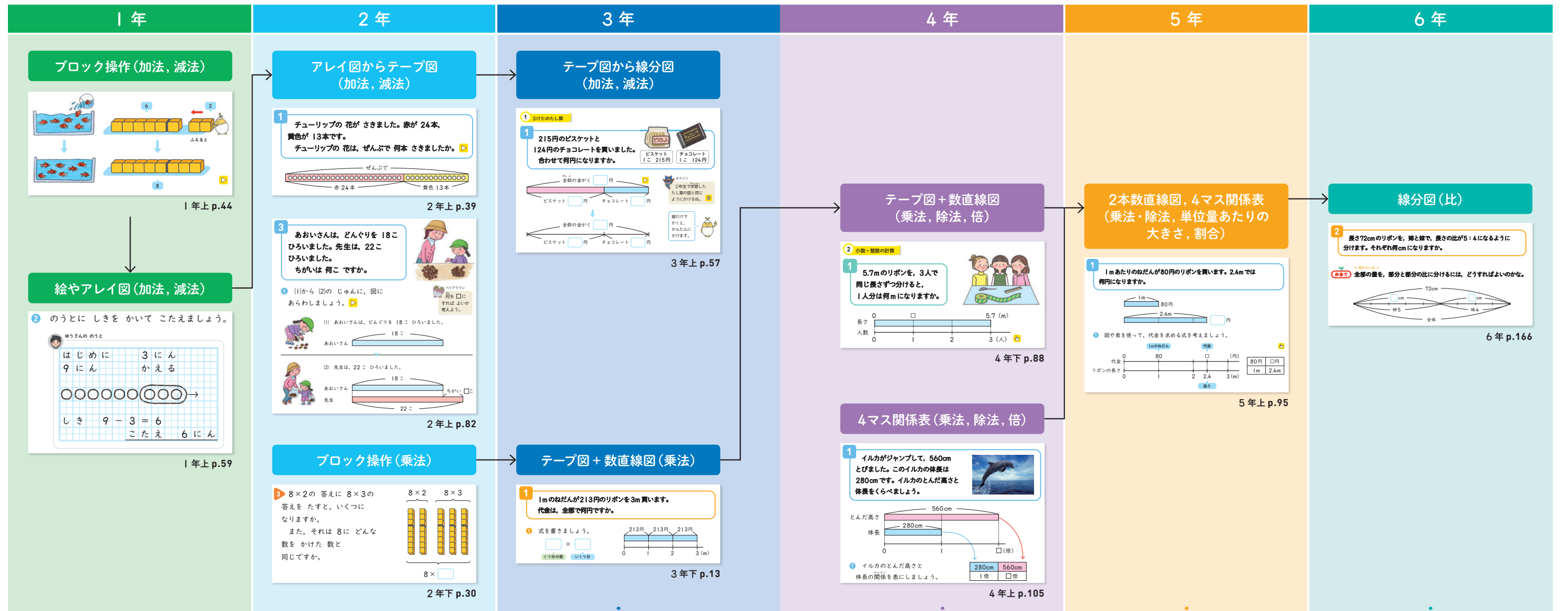
[中学校2年]

- ★同様に確からしい
- ★箱ひげ図

[中学校3年]

- ★標本調査

図、表の系統性



図や表の使い方がききなどを学ぶことができるページを設定することで、いつでもそれらの意味に立ち返ることができるようにしています。

図を使って問題を考えよう

りんご 400g、人参 100g、入瓶に入れて重さ 500g のりんご人参ジュースを作りました。入瓶の重さは何グラムですか。 → 122ページ

① りんごが400gある。

② 人参が100gある。

③ 全重が500gあった。

式: $400 + \square = 500$

3年下 p.128-129

図や表を使って問題を考えよう

1つずつの重さ

① 1つずつの重さ

② 1つずつの重さ

③ 1つずつの重さ

式: $\square \times 10 = 100$

4年上 p.108-109

図や表を使って問題を考えよう

① 1つずつの重さ

② 1つずつの重さ

③ 1つずつの重さ

式: $\square \times 10 = 100$

5年上 p.92-93

図や表を使って問題を考えよう

① 1つずつの重さ

② 1つずつの重さ

③ 1つずつの重さ

式: $\square \times 10 = 100$

6年上 p.58-59

主な考え方モンスター別構成一覧

A 数と計算

B 図形

C 測定

C 変化と関係

D データの活用

	1年	2年	3年	4年	5年	6年
ヒトツツ 	<ul style="list-style-type: none"> 10を1つ分として数を表したり、計算したりする。 1つ分(任意単位)を決めて、長さやかさ、広さを比べる。 	<ul style="list-style-type: none"> 10や100, それぞれの位を1つ分として数を表したり、計算したりする。 等分した1つ分をもとに分数で表す。 1つ分(普遍単位)を決めて、時刻や時間、長さ、かさなどを数で表す。 	<ul style="list-style-type: none"> 10や100, それぞれの位を1つ分として整数や小数、分数を表したり、計算したりする。 1つ分(普遍単位)を決めて、長さや重さなどを数で表す。 棒グラフの1目盛りを1つ分と考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 10や1000などを1つ分として、1つの数をいろいろな表し方で表す。 10や0.1, 単位分数などを1つ分として、数に表したり計算したりする。 1°を1つ分として、角の大きさを表す。 1cm², 1m²などを1つ分として、面積を表す。 	<ul style="list-style-type: none"> 10や0.1, 単位分数などを1つ分として、数に表したり計算したりする。 1cm³, 1m³などを1つ分として、体積を表す。 単位量あたりの大きさを求めて、こみぐあいなどを比較する。 もとにする量を1として、比べられる量の大きさを割合で表す。 	<ul style="list-style-type: none"> 分数の乗除を、単位分数を1つ分として計算する。 1つ分を決め、2つの量がそれぞれいくつ分かを考えて、その関係を比で表す。
マトメール 	<ul style="list-style-type: none"> 10ずつにまとめて数える。 似ている形で分類する。 	<ul style="list-style-type: none"> 10のまとまりやばらをそれぞれまとめて計算する。 形の特徴によって、長方形や正方形、直角三角形に分類する。 調べたいことを表やグラフにまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> 辺の長さに着目して、三角形を分類する。 結果をわかりやすくするために、調べたいことを表やグラフにまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> いろいろな見方で、四角形を分類する。 面の形で、直方体や立方体に分類する。 結果をわかりやすくするために、2次元表を使ってまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> 数の性質に着目して、整数を分類する。 辺の数や角の大きさを表にまとめて、正多角形の性質を見つける。 角柱の特徴を表にまとめて、その性質を見つける。 	<ul style="list-style-type: none"> 今まで学習した図形を線対称や点対称の視点でまとめる。 角柱や円柱の体積はどれも(底面積)×(高さ)でまとめられることを見つける。
ベツアラフシ 	<ul style="list-style-type: none"> 数や問題をブロックや絵、式で表す。 長さなどをテープに置き換える。 	<ul style="list-style-type: none"> 図を使って、場面を把握したり、計算したりする。 数の見方を変えて、表し方を変える。 時刻や時間を時計の図や数直線で表す。 調べたいことを表やグラフに表して整理する。 	<ul style="list-style-type: none"> 問題文を、図やことばの式などで表す。 時刻や時間を時計の図や数直線で表す。 調べたいことを表や棒グラフで表す。 	<ul style="list-style-type: none"> 目的に応じて概数で表す。 ()などを使い、1つの式に表す。 直方体や立方体を展開図で表す。 調べたいことを表や折れ線グラフで表す。 	<ul style="list-style-type: none"> 商を分数の形で表す。 割合を求める式の表し方を変えて、比べられる量やもとにする量を求める式をつくる。 目的に合わせて、割合を円グラフや帯グラフで表す。 	<ul style="list-style-type: none"> わからない数は文字を使って、数や量の関係を式に表す。 問題を図や数直線に表して、計算のしかたを考える。 比例関係にある量を表や式、グラフに表す。 データを代表値やドットプロット、柱状グラフなどで表す。 表や図におきかえて、落ちや重なりがないように整理する。
ソロエ 	<ul style="list-style-type: none"> 端をそろえて長さや広さを比べる。 データの数を比較するとき、カードなどの大きさをそろえて比べる。 	<ul style="list-style-type: none"> 位をそろえて書いて、数の大小を比べたり、加減の筆算をしたりする。 もとにする長さをそろえて(任意単位を決めて)比較する。 	<ul style="list-style-type: none"> 乗法の筆算や、小数の加減の筆算も、縦に位をそろえて計算する。 同じ単位をそろえて、時間や長さの計算をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 小数でも位をそろえて書いて、大きさの比較や計算をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 異分母分数の分母をそろえて、大きさを比べる。 整数、分数、小数が混じっているときは、分数か小数にそろえて、大きさを比べる。 2つの量のどちらか一方にそろえて比べる。 もとにする量の1をそろえて、割合で比べる。 	<ul style="list-style-type: none"> 整数、小数、分数が混じった計算では、分数にそろえて計算する。 比の値をそろえて、等しい比を見つける。

	1年	2年	3年	4年	5年	6年
 ワッケル	<ul style="list-style-type: none"> 1つの数を、2つの数に分ける。 2位数の加法や減法を、位で分けて計算する。 	<ul style="list-style-type: none"> 10のまとまりとばらを分けて考える。 被乗数を分けて、大きい数の段の九九の答えを見つける。 四角形に1本の直線を引いて、三角形や四角形など、2つの形に分ける。 同じ項目ごとに分けて表に表す。 	<ul style="list-style-type: none"> 桁数の多い乗法も、被乗数や乗数を分けて、答えを求める。 	<ul style="list-style-type: none"> 被除数が大きくても、位ごとに分けて計算する。 180°以上の角度を、180°といくつのように分けて考える。 複合図形では、正方形や長方形などに分けて、面積を求める。 	<ul style="list-style-type: none"> 複合立体の求積では、倍積や分割などの方法で体積を求める。 全体の量をまとめてから、個数で分けることで、平均を求める。 	<ul style="list-style-type: none"> 帯分数を、整数部分と分数部分に分けて考えて、およその値を求める。 図を分けて、今までに学習した形に変えることで、円の面積を求める。
 カエカエ	<ul style="list-style-type: none"> 任意単位の大きさを変えると、いくつ分にあたるかが変わることに気づく。 	<ul style="list-style-type: none"> 被乗数の分け方を変えても積は同じになることを見つける。 	<ul style="list-style-type: none"> 除法の答えを、いろいろな数値を当てはめて考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 被除数や除数を変えて、除法のきまりを見つける。 きまりが成り立つことを、いろいろ数で確かめる。 	<ul style="list-style-type: none"> 今までに学習した形に形を変えて、いろいろな図形の面積を求める。 	<ul style="list-style-type: none"> 今までに学習した形に変えて、円の面積を求める。
 キマリン	<ul style="list-style-type: none"> 計算カードを順番に並べて、きまりを見つける。 	<ul style="list-style-type: none"> 帰納的に加法や減法のきまりを見つける。 帰納的に乗法のきまりを見つける。 箱の形で、面、辺、頂点のきまりを見つける。 	<ul style="list-style-type: none"> 交換、結合法則や分配法則を使って、大きい数の乗法を考える。 結合法則を使って、乗法の暗算をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 整数や小数の四則で、計算のきまりを使って工夫して計算する。 ともなって変わる量を表に表して、きまりを見つける。 	<ul style="list-style-type: none"> 10倍すると小数点を右へ1桁、$\frac{1}{10}$にすると小数点を左へ1桁移した数になるきまりを見つける。 小数の乗法でも、計算のきまりが成り立つことを見つける。 多角形の角の大きさの和のきまりを見つける。 面積の公式を利用する。 直径と円周の間のきまりを見つける。 ともなって変わる2つの量の変り方のきまりを見つける。 	<ul style="list-style-type: none"> 計算のきまりを使って、これまで学習した計算になおす。 正多角形の対称性についてのきまりを見つける。 比のきまりを使って、簡単な比で表す。
 オナジン	<ul style="list-style-type: none"> 長さ、かさ、広さを、1つ分を決めて、同じように数に表して比べる。 	<ul style="list-style-type: none"> 1年生のときの加減と同じように、繰り上がりや繰り下がりを考えて計算する。 乗法のきまりを見つけ、それがほかの数でも同じように成り立つと考え、新しい九九を作る。 長さもかさも、10個集めると同じように単位が変わる。 	<ul style="list-style-type: none"> 等分除、包含除のどちらも、同じようにわり算で求める。 これまでと同じように、位の数が10個集めると位が変わる。 桁数の多い整数や、小数、分数も、これまでと同じように計算する。 円と球には同じような関係があることに気づく。 ある単位を基準に考えると、単位間に同じような関係があることに気づく。 	<ul style="list-style-type: none"> どんなに大きい数や小数でも、同じように十進位取り記数法で表されていることに気づく。 小数の四則や、分数の加減でも、整数と同じように計算する。 	<ul style="list-style-type: none"> 小数どうしの乗除は、きまりを使って整数になおして、整数の計算と同じようにする。 異分母分数の加減を、通分してこれまでと同じように計算する。 面積と同じような考え方で、体積を求める。 今まで学習した倍の考えと同じように考えて、割合を求める。 	<ul style="list-style-type: none"> 分数の乗除も、計算のきまりを使って整数の計算と同じように考える。 円の面積と同じような考え方で、円柱の体積を求める。
 ナーゼ	<ul style="list-style-type: none"> 計算方法をどのように考えたのか説明する。 	<ul style="list-style-type: none"> 問題文から正しい計算を判断し、その理由を説明する。 なぜ三角形や四角形といえるのか、その理由を説明する。 	<ul style="list-style-type: none"> 除法のあまりの処理で、目的に応じて理由を考えて求める。 計算の誤りを説明する。 なぜ円といえるのか、その理由を性質に基づいて説明する。 	<ul style="list-style-type: none"> 除法で、商やあまりが正しいかどうかを、答えの確かめを使って説明する。 	<ul style="list-style-type: none"> なぜ合同になるのか、なぜ合同な三角形をかくことができるのか説明する。 多角形の角の大きさの和が何度になるか説明する。 ともなって変わる2量が比例といえるかどうか説明する。 こみぐあいなどの比べ方を説明する。 	<ul style="list-style-type: none"> 分数をかける、分数でわるとはどういうことか説明する。 線対称や点対称な図形の性質をもとに、それらの図がかける理由を説明する。 拡大図や縮図の性質を使って説明する。